

当院職員の新型コロナウイルス感染について（第2報）

先にお伝えした当院病棟スタッフの新型コロナウイルス感染につきましては、本件確認時に入院されていた全ての患者さんに対してPCR検査を実施した結果、全員の陰性を確認いたしました。また、本件が確認される直前に退院された患者さんに対しましても、ご本人、又はご家族にかかる状況を丁寧にご説明申し上げたうえで健康観察をお願いしておりますが、現状では新型コロナウイルスの感染を疑う症状などは確認されておられません。

なお、8月17日（月）に横浜市健康福祉局、及び戸塚保健所から担当者9名が来院され当院の感染管理対策、本件発生後の対応状況などについて聞き取り調査が行われたところですが、本件が院内感染である可能性は極めて低く、現状の院内体制等については十分に確保されているとの評価をいただきました。

つきましては、当該病棟では向後も引き続き新規入院患者の受入れを制限させていただいておりますが、外来診療や関係する検査等、また他の病棟への入院に関しては引き続き感染対策に努め、これまでどおりの診療体制を確保しておりますので、受診に際してはご安心いただくようお願いいたします。

最後に、当該病棟では念のため面会禁止をお願いしております。患者さん、ご家族には大変ご迷惑をお掛けしておりますことを改めてお詫び申し上げます。

令和2年8月18日

国立病院機構横浜医療センター院長 鈴木宏昌